

湊江小学校 外国語・外国語活動研究通信

第1号

令和3年4月

今年度1回目になる外国語・外国語活動研究は「今年度の研究活動について」と「外国語活動の確認事項」を行いました。講演では、東京都教育庁指導部国際教育推進担当 西貝 裕武 課長よりご指導いただき、研究を深めました。

研究主題

関わり合い、学びを広げ、深める児童の育成

～思いを豊かに表現できる授業づくりを通して～



<学力定着推進課 三輪 政継 統括指導主事より>

昨年度は緊急事態宣言で休校や分散登校等ありましたが、順調に研究の成果が出てきていることは素晴らしいと感じる。今年度は直山 木綿子 視学官の支援を得ながら、さらに研究を深め、外国語授業の充実に努めてほしいと思う。

<学力定着推進課 山口 哲治 指導主事より>

足立区教育委員会指導力向上中核校として一人ひとりが外国語活動・外国語科に向き合っている姿が研究の成果だと感じる。コロナの影響で制限されていることが多いが、できることを精一杯頑張してほしい。

<教育指導課 谷本 典大 指導主事より>

全教員が一丸となって研究に取り組むことが大切だと思う。また、研究授業や普段の授業などでも色々な意見を参考にしながら、より良い研究になってほしいと思う。

<文部科学省初等中等教育局教育課程課 直山 木綿子 視学官より>

昨年度の、「奥田先生の授業」「English Friday」「授業で使えるクラスルームイングリッシュ講座(職員夕会)」「研究授業や研究会の様子」などの撮影へのご協力に感謝している。動画のテーマは「チーム学校として取り組む外国語・外国語活動」。近々、YouTubeに上げる予定。

<今年度の研究について> 研究主任 深谷 久美 主任教諭

(研究主題)

関わり合い、学びを広げ、深める児童の育成 ～思いを豊かに表現できる授業づくりを通して～

(仮説)

- ①児童に分かりやすい形の振り返りを繰り返し、教師が一人一人の思いを的確に知り授業作りをすることで、児童は一人一人思いを豊かに表現できるだろう。
- ②既習の表現を活用した言語活動を工夫することで、外国語をより身近に感じ、目的をもって積極的にコミュニケーションを図ろうとするだろう。

(目指す児童像)

- ・言語活動を通して、外国語に慣れ親しみ、外国語をより身近なものに感じられる児童。
- ・外国語やジェスチャーを用いて積極的に話したり聞いたりして自分の思いや考えを伝え合う児童。
- ・自他のよさを認め合い、積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童。

(研究の視点)

視点①「振り返りカードの工夫」

到達目標に向けた足場や発展的な段階を段階化した4段階からなる Can-Do 尺度を児童にわかりやすい形で提示し、振り返りを行う。発達段階に応じた振り返りを行う。

視点②「目的・場面・状況等を明確にした言語活動の工夫」

言語活動 実際に英語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合う活動。

エンドプロダクトの工夫 児童が意欲をもって取り組める課題や児童の身の回りに実際に起こり得る課題を初めに提示することで児童が目的意識をもって取り組めるようにする。

視点③「表現を繰り返し使うための工夫」

低学年 身体を使った表現やゲーム、絵本や歌などを活用し、英語の響きを味わう。

中学年 絵本や歌を活用し、既習表現に慣れ親しむ。

高学年 スモールトークで既習表現を繰り返し使い、定着を図る。

〈講演〉東京都教育庁指導部国際教育推進担当 西貝 裕武 課長

「新たな問い」を立てる

- ・去年の研究を踏まえて新たな問いを見つけてほしい。今年度の研究で明らかにしたいことは何かを考える必要がある。例えば、児童が主体的に取り組むエンドプロダクトはどのようなものか、中間指導を通して身に付けさせたい力は何か、など児童の姿から問いを立て、研究を深めていくことを期待している。
- ・学習指導要領に示されている「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方」を踏まえて、研究の視点を通した児童の変容を記録していくことが大切である。
- ・足立区教育委員会指導力向上中核校として、足立区の小学校に広めていく責任がある。外国語・外国語活動の研究を通して、学級の変化や授業の変化を感じ、新たな問いをみつける。

東京都教育施策大綱(令和3年3月)

- ・世界に羽ばたくグローバル人材の育成は「東京型教育モデル」で実践する特に重要な事項のひとつである。
- ・語学力は課題解決のための手段であり、外国語を当たり前に使こなす力の育成が求められている。

TokyoGlobalStudio について <https://www.tgs.metro.tokyo.lg.jp/about/>

・TokyoGlobalStudio は、東京都教育委員会が多様な機関と連携して制作した英語を使う楽しさや有用性を体感できる英語動画教材。

Beginner(主に小学3・4年生から)

文部科学省教材「Let's Try!」で扱われている主要フレーズ・単語を、歌やチャンツ、ゲーム、クイズ等を通じて、楽しく学ぶことができる。

Elementary(主に小学5・6年生から)

小学校外国語の教科書で扱われる主要フレーズ・単語を場面に即したやり取りを通じて、楽しく学ぶことができる。動画で学習した単語や英文をなぞる、写すなど、英文を「書くこと」を扱ったワークシートがついている。

中学校英語スピーキングテスト <https://www.tokyo-portal-edu.metro.tokyo.lg.jp/speaking-test.html>

- ・東京都教育委員会は、小・中学校で身に付けた英語によるコミュニケーション能力を高校でさらに向上させるため、小・中・高校で一貫した英語教育を進めている。
- ・中学校英語スピーキングテストは、義務教育修了段階での「話すこと」の力を把握するとともに、中学・高校の英語指導の充実に活かすために実施するアチーブメントテストである。
- ・平成30年度からスピーキングテストを一部の学校で試行実施してきた。令和3年度は都内公立中学校に在籍する全中3生を対象に実施する。
- ・本校の研究の延長線上に中学校の授業改善がある。過去に実施したスピーキングテストの問題と採点基準及び「『話すこと』トレーニング」が上記サイトから閲覧できるので参考にしてもらいたい。
- ・TokyoGlobalStudio と中学校英語スピーキングテストに係る教材は、誰でも閲覧ができるので、児童・生徒の自学自習用教材として活用できる。
- ・なお、令和4年度から都内全公立中学校等第3学年生徒に対して「中学校英語スピーキングテスト」を実施し、その結果を都立高校入試に活用する予定になっている。